

豊浦病院 事業計画

2018年8月30日
医療法人 愛広会

【豊浦病院の基本情報】

医療機関名 : 豊浦病院

開設主体 : 医療法人愛広会

所在地 : 新潟県新発田市荒町甲 1 6 1 1 番 8

許可病床数 : 180 床

(病床の種別): 療養病床 180 床

(病床機能別): 慢性期 180 床

稼動病床数は許可病床数に同じ

診療科目 : 内科、漢方内科

職員数 : 合計 150.3 人 (常勤換算人数)

区分	医師	薬剤師	看護師	看護補助者	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	診療放射線技師 エックス線技師	臨床検査技師	事務職員・他	計
職員数	4.0	3.1	54.7	49.8	7.7	3.3	6.8	3.0	1.0	1.0	15.9	150.3

1. 豊浦病院の増床計画および将来ビジョン

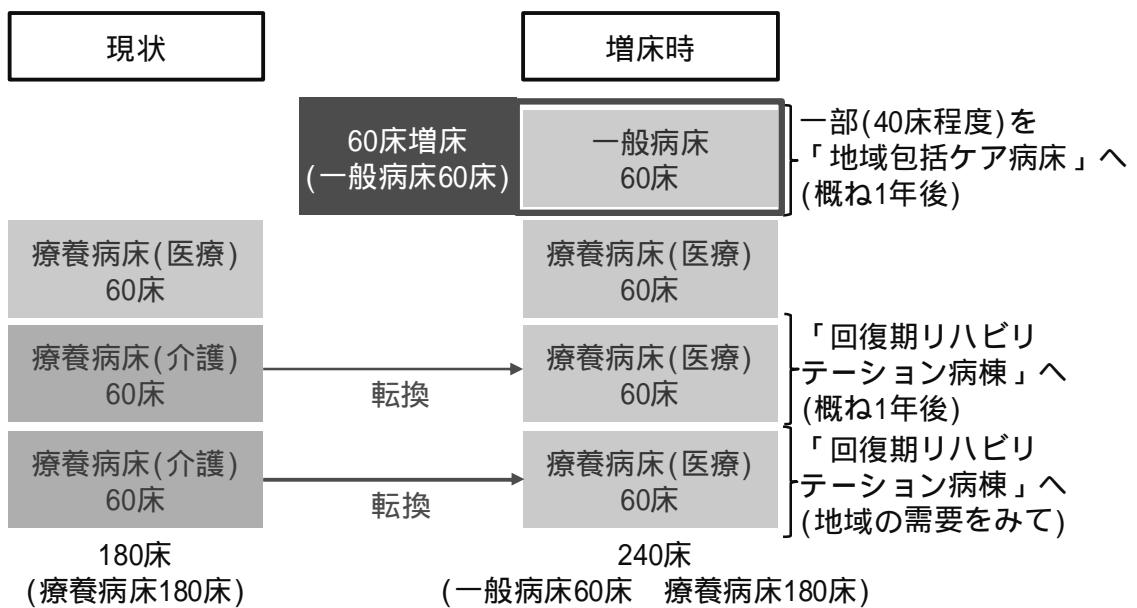
豊浦病院の役割を再検討した結果、60床の増床を計画し、2018年3月に新潟県より増床の許可を得ています。

(1) 増床計画の概要

増床は「一般病床」60床とし、概ね増床1年後にその一部(40床程度)を「地域包括ケア病床」とする予定です。

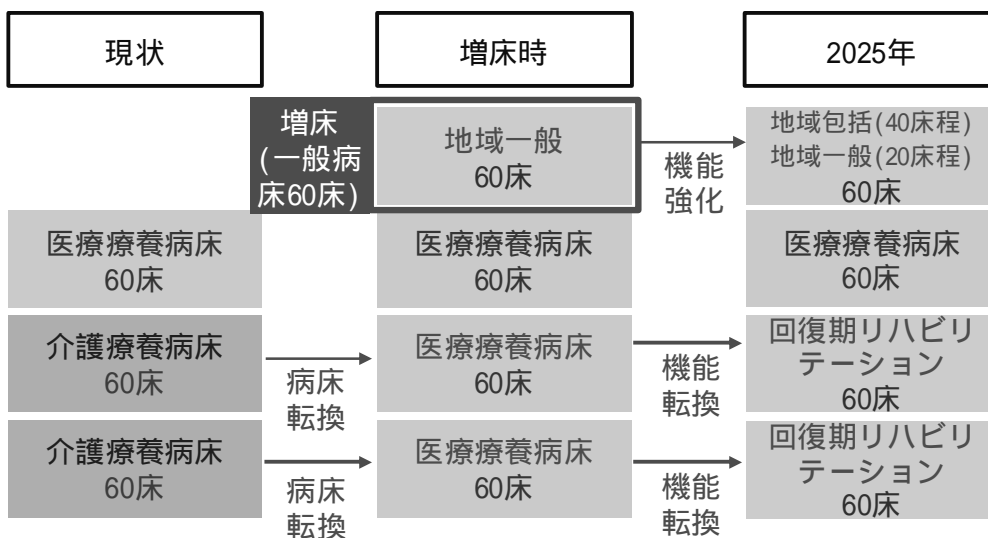
また、既存の介護療養病床120床を医療療養病床に転換し、うち60床は、概ね転換1年後に「回復期リハビリテーション病棟」としていく予定です。

増床および転換は増築棟の竣工にあわせ、2020年4月を予定していましたが、増築棟建設予定地に遺跡があることが判明し、調査を行うこととなったため、6~12ヵ月ほど遅れる見通しです。



(2) 病床機能と将来ビジョン

病床機能の転換を行い、回復期機能の提供充実を図ります。



(3) 現状と増床後の病床数

一般病床 60 床を増床するとともに、回復期機能の提供充実を図ります。

		現状	増床後・2025年
病床数		180	240
病床の種別	一般病床	0	60
	療養病床	180	180
病床機能別	高度急性期	0	0
	急性期	0	0
	回復期	0	180
	慢性期	180	60

2. 地域の実情・ニーズおよび豊浦病院の果たしていく役割

下越圏域の現状から、豊浦病院は3つの役割が求められていると考えており、それぞれ対応することで、国の目指す地域包括ケアシステムの構築に寄与していきます。

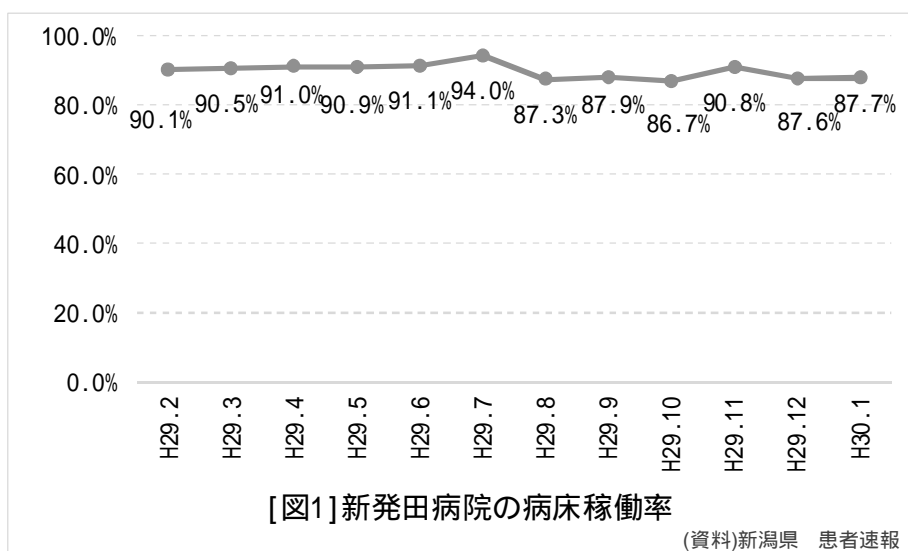
求められる役割	対応
ポストアキュート医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「介護療養病床」120床を「医療療養病床」に病床転換し、地域の需要をみながら2025年頃までに「回復期リハビリテーション病棟」へ機能転換を図ります。 ・急性期後の患者等のスムーズな受け入れを図ります。
地域の高齢者等へのサブアキュート医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・一般病床60床を増床し、一部(40床程度)を「地域包括ケア病床」とします。 ・地域の病院・診療所等との連携強化を図ります。
療養・レスパイト入院のニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・現状通り慢性期医療を提供します。 ・自宅での療養が難しい難病の方やレスパイト入院のニーズへの対応を図ります。

ポストアキュート医療の提供

県立新発田病院の病床稼働率は90%を超える月があり、負荷を軽減するため急性期後の患者を受け入れるポストアキュートへ対応する病床機能が必要と考えています。

[図1]新発田病院の病床稼働率

・新発田病院の病床稼働率は常時86%以上で90%を超える月がある。



地域の高齢者等へのサブアキュート医療の提供

新発田市の老年人口は増加傾向にあり、現状のまま推移すれば入院への需要は2035年度頃まで増加すると考えられます。

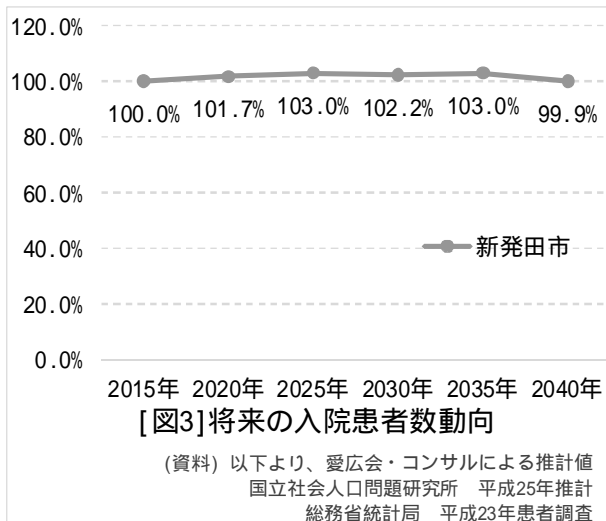
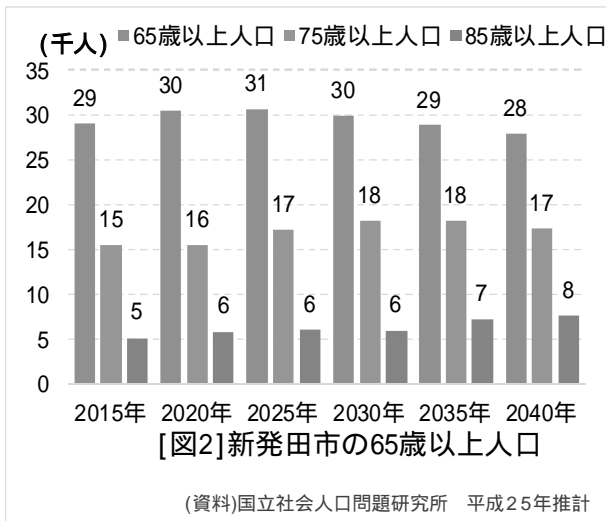
一方、国の方針として、在宅復帰・在宅療養の支援を通じて長期療養患者を減らしていく方針であることから、急性増悪等のサブアキュートへ対応する病床機能が必要と考えています。地域の医療機関等と連携し在宅復帰・在宅療養の支援を図ります。

[図2]新発田市の老年人口

- ・ 65歳以上人口は2025年度まで増加見込み。
- ・ 75歳以上人口は2035年度、85歳以上人口は2040年度まで増加見込み。

[図3]将来の入院患者数動向

- ・ 現状のまま推移した場合、新発田市の入院患者数は、2035年度まで増加見込み。



療養・レスパイト入院のニーズへの対応

豊浦病院は現在慢性期機能の病床 180 床を運営しており、入院患者の 80%以上を新発田市の居住者が占めています。また、医療区分 2・3 の割合が 96.2%、待機患者数は常時 30～50 名という状況で、地域には療養・レスパイト入院へのニーズがあると考えています。

慢性期の医療機能を提供し、地域の療養ニーズ、レスパイト入院ニーズに応えていきたいと考えています。

